

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	築上町	代表者名	新川 久三		
担当者部署	企画財政課	連絡先電話番号	0930-56-0300		
担当者役職	係長	担当者氏名	舛川 千菜美	連絡先E-mail	kikakukeikaku@town.chikujō.lg.jp
住所	829-0392 福岡県築上町大字椎田891番地2				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	本町が抱える課題への捉え方についてポジティブに考えた視点からアドバイスいただいた。また、予定している研修についてこちらの希望を踏まえた内容でご提案いただいた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年5月31日	講演	有	5月16日	637
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	6月19日	支援・助言	10時00分	10時50分	0
				活動時間（分）	50

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DX推進に当たり、担当部署が明確に存在せず、全庁的な推進体制が整っていないこともあり、町全体のDXへの取組姿勢が見えない。また、DX関連の事業についても各部署で個々に事業を実施しているため、情報の共有化がされておらず、横断的な取組も少ない。職員内でもDX推進に関する知識や意欲にばらつきが見られる状況であることから全庁的なDX推進体制づくりの構築と職員のDX推進への機運醸成が必要となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DX推進計画策定と全庁的なDX推進体制の構築。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・三役及び管理職職員を対象にしたマネジメント研修の内容提案。 ・DX推進計画策定に係る今後のスケジュールの中での支援日の日程調整。 ・DX推進について外部からの評価が高い自治体は、広報に力を入れて積極的に発信していることから、外部からどのように見えるかを意識すること。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	・三役及び管理職職員を対象にしたマネジメント研修内容の決定。 ・DX推進計画策定に係る支援日の日時決定。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 なし。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	DX推進が町民の利便性向上につながり、誰もが住みよいまちづくりが実現できている。	

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

